



# おじやりんく通信

おやじりんく3件目の  
放課後等デイサービス  
「輝-HIKARI-上宗岡」開所!



放課後等デイサービス  
**輝-HIKARI-**  
上宗岡  
埼玉県志木市上宗岡2-8-13  
電話:048-485-8034

3月24日に、当団体が運営する放課後等デイサービスの3件目となる「輝-HIKARI-上宗岡」が開所しました。同施設の管理者は、輝-HIKARI-志木の管理者を兼務する大谷貴志児童発達支援管理責任者は、志木で常勤者として勤務していた内本麗菜が担当します。デイサービス施設としては理想の平屋階建ての一軒家であり、暖色系の建物で明るく利用者を迎えます。



また、子どもたちが社会の構成員として心豊かに暮らせるように、地域交流やネットワークづくりを通して、ご家族、支援機関、地域の皆様とのつながりを大切にして参ります。



埼玉県障害者交流センター25周年事業  
第2回  
こどもたちは、  
オヤジのチカラを待っている。

各団体の活動を紹介するポスター掲示、絵画教室、絵画展、障がい者二十歳の写真展、撮影会、絵本ライブ、缶バッジの制作、歯科治療支援機器の展示、お菓子釣り、バルーンアートなど、子どもから大人までみんなが楽しめる催し物が行われました。午後2時からは、基調講演として毎日新聞社論説委員の野沢和弘氏をお迎えして講演をして頂きました。内容は、野沢氏が新聞社



3月8日は、埼玉県交流センター25周年事業となる「第2回こどもたちは、オヤジのチカラを待っている。」が開催されました。また協力団体としては、NPO法人ファザリング・ジャパン・メインマンプロジェクト、NPO法人日本障がい者写真協会、一般社団法人からふる、さいたまパパネットワーク・さいまパパNPO法人ユニバーサルダイビングネットワーク、きょうだい児の会・ブレイブキッズ、株式会社マイクロプレスイン、レテックス株式会社などの協力のもと出展や催し物など行いました。



野沢氏は自閉症のお子さんを抱えるひとりの父親として、子どもと接した時の様々な経験や体験を通じて感じた思いなど、オヤジとしての活動や地域での理解を求める啓発活動についてもお話し頂き、多岐に涉り「障害者との共生」について講演をされました。



みな元気よく手を挙げて、作品に対する想いを語っていました。1時間30分に渉る品評会、でも子どもたちは凄く真剣に作品を鑑賞して、自分の作品を紹介されると手を叩いて喜ぶ姿、たくさん笑顔と感動がありました。

1月17日は、さいたま市の大宮工房館にて、スイミー壁画プロジェクトの完成品評会として、アートコミュニケーションシヨンプログラム(ACP)が開催されました。子どもたちが描いた作品を、池平徹兵氏がアーティストとして閃きと発想を加え、最後にアトリエで装飾を行いました。完成した作品「私はいつも未来に夢しか見ていない」を皆で鑑賞。この作品について感じた事、思った事、そして描いてある作品が何か?などを意見を言いました。

アートコミュニケーション  
シヨンプログラム(ACP)  
を開催

作品名「私はいつも未来に夢しか見ていない」



1日だけの障がい者就労事業によるとっておきの市場

## 障がい者の就労を考える

福岡県久留米市で 講演・交流

1月24日は、福岡県久留米市内において一般社団法人アカル力福祉協会が主催の「1日だけの障がい者就労事業によるとっておきの市場」(キラリ☆マルシェ)が開催されました。市内の企業約30社の協力のもと、就労系障害福祉施設・事業所などが20店舗出店。各施設で作られている野菜・パン・創作物等を販売しました。このイベントの基調講演と

して、当団体代表の金子が発達障がい児に必要なおやじの力」と題して講演を担当。120名の参加者に対して「障害者の就労について」をテーマに、岡山県総社市の障がい者千人雇用について語りました。

もうひとつの基調講演は、大阪府障害者福祉施設に勤め、日々障害のある方々と交流されており、また独学でファイナンシャルプランナーの資格を取得して、障害のある方々の金銭管理について指導をされている、鹿野佐代子氏が登壇。『障がいのある方が知ってお



翌日の25日は、当団体の代表、理事2名、監事、広報の5名で、福岡県久留米市にある、

きたいお金の話」と題して、障害当事者の方への金銭管理等の支援についてお話しをされました。障害者の方の成人期に起こる問題として「性」と「お金」について実体験を基に様々な問題について話されました。キラリ☆マルシェには、450名以上の方が訪れたとの事で販売会場も、講演会場も満員で大盛況でした。



Like Labを施設見学しました。Like Labは、株式会社Like Labが運営する児童発達支援・放課後等デイサービス。Like Labからは代表・管理者・児童発達支援管理責任者・学長・作業療法士・

広報室長など中心メンバーでお迎え頂きました。実際に児童をお預かりする「プレイスクールLike report」を見学、その他、成人の方の自立訓練(生活訓練)を行うスペース「ソーシャルスクールLike Lab」を見学。同じくLike Labが運営する「studio nucca (スタジオ・ヌッカ)」も見学しました。他には、埼玉と福岡での支援制度の違いや、お互いの地域によるサービスの在り方などについて多岐に渉り意見交換を行いました。Like Labと、おやじりんくのこの団体交流は、お互いに切磋琢磨できるそして新しい発見が出来た素晴らしい交流でした。

## JOY 明日への息吹

「JOY 倶楽部」、「joy ひこばえ」を訪問

1月26日は、福岡市にある社会福祉法人JOY明日への息吹が運営する施設、障害福祉サービス事業所「JOY 倶楽部」と、子ども発達支援施設「joy ひこばえ」を訪問。理事長の緒方克也氏に施設のご紹介を頂きま

した。見学は、代表をはじめ、理事2名と監事、広報の5名で訪問。JOY 倶楽部は、音楽隊として、「ミュージックアンサンブル」と美術をテーマとした「アトリエブラヴォ」から構成

された福祉サービスを行っています。全員が知的・精神・身体的に障害のある成人の方々で構成された音楽隊です。日本各地でツアーを行い、他国では韓国でのコンサートも経験しているプロの音楽隊です。訪問した時に、すぐに歓迎の演奏を一曲披露し、その後は練習風景も拝見させて頂きました。一人一人がもっている力を最大限に発揮して、そして伸び伸びと楽しく、そしてプロとしての自覚を持ち、一生懸命に演奏をされています。



利用者への感染を防ぐため、マスクを着用しています。



子どもたちがのびのびと運動できる空間でした。

JOY 倶楽部の見学を後にして「子ども発達支援施設 joy ひこばえ」に向かいました。この施設は、発達障害のある児童の3歳から5歳の子どもの場所は福岡市でも博多区の中心地。廃校となった小学校の一部を活用して運営されており、施設内にある運動療法を兼ねた遊具が配置されている部屋を見学。思いっきり子どもたちが運動できるような環境を整えておりました。また作業療法士も常勤として配置されており専門に行える体制も整えております。苦手な事に対して周りのお友達と一緒に頑張れるような環境にもなっています。本当に素晴らしい施設でした。

## その他、交流・活動一覧

- ・さいババ主催、『ババ・ママ遊ぼう子育てフェスティバル』に参加。(2015年2月1日)
- ・NPO法人地域ふれあいステーションひだまりを訪問。(2015年2月4日)
- ・岡山県総社市の障がい者千人雇用での取り組み、施設を見学。(2015年2月10日)
- ・新潟市発達障がい支援センターJOIN (ジョイン) 主催、ジョイン発達障がい講座～おとうさんもいっしょ～にて講演。(2015年2月14日)
- ・特例子会社SAPハピネス株式会社を訪問、見学。(2015年3月3日)
- ・NPO法人ふうしすてむ、NPO法人フェロージョブステーションを訪問。(2015年3月23日)

